学校番号	414

令和2年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	新編　書道Ⅰ　（東京書籍）						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学びましょう。
・平仮名から入り、篆隷行草から楷書に至るまで様々な書体を体験し、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざします。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

月	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	書写から書道へ	1 書写の確認 ・楷書の基本 ・行書の基本	○			○	a:書写と書道の類似点・相違点、正式書体・略式書体について興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。 d:書道の類似点・相違点、正式書体・略式書体について理解し、さまざまな書のよさを味わっている。	観察 レポート ワークシート 提出作品

5 6	漢字の書	1 漢字の書を学ぶ 漢字の成立と変遷 古典に基づく学習 2 楷書 楷書の用筆法・結構法 楷書の成立と唐の四大家	○	○		○	a:五書体(楷書・行書・草書・隷書・篆書)の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:各書体の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 d:文字の成り立ちに興味を持ち、代表的な五書体の古典を知り、そのよさや美しさを味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
6 7	漢字の書 (硬筆)	臨書・鑑賞 ・九成宮醴泉銘 ・孔子廟堂碑 ・雁塔聖教序 ・自書告身 ・牛橛造像記 ・鄭羲下碑		○		○	b: ・楷書の古典を臨書する意義について理解する。 d: 楷書の古典の美について理解し，用筆，運筆，字形の取り方などについて注意して臨書する。	観察 提出作品
8	発泡スチロール印による姓名印づくり	草書 ・草書の成立と特徴 隷書 ・隷書の成立と特徴 篆書 ・篆書の成立と特徴	○		○	○	a:名前の各書体調べを通じて書体の変遷について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている c: 印稿づくりにおいて小筆の弾力を活かし、硬筆等にも応用できる技法を身に付け表している。 d:様々な石や銅の印影を鑑賞し、そのよさや美しさを味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
9 10	篆刻と刻字	1 篆刻 創作の手順 創作参考作品 2 刻字 創作の手順 創作参考作品	○	○	○	○	a 基本的な用具・用材に関する知識や扱い方を理解しようとしている b 篆刻の表し方やその美しさを理解し，表現を工夫している c た表現効果を理解し，表現に応じた用具・用材を選択している。 d 刻字の美やよさを感じ取っている	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
11 12	仮名の書	仮名の成立 ・仮名の種類 ・現在の仮名の種類 ・仮名の美 仮名の用具・用材 ・用具・用材の種類 仮名の筆使い ・いろいろな線	○		○	○	a:仮名の美(連綿、散らし書きなど)について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている c:基礎的・基本的な連綿や散らし書きの技法を身に付け表している。 d:暮らしの中に書を生かすことを理解し、そのよさや美しさを味わっている。	観察 提出作品
1 2	漢字仮名交じりの書	いろいろな線による表現の広がり 線質の調和による表現 用具・用材による表現 紙面構成のバリエーション 古典を生かした創作	○	○	○	○	a 表現のよさや美しさに関心をもち，表現を高めようとしている。 b 線質が漢字と仮名の調和を図る重要な要素であることを理解し，表現を工夫している。 c 漢字と仮名の線質の調和を図る技能を身に付け，表している。 d 多様な線質による表現の違いを感じ取っている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

※ 表中の観点について a:書への関心・意欲・態度 b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能 d:鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。